

AV MATERIAL

ニュースクリップ & 映像教材

「教育映像祭 優秀映像教材選奨」 および「全国自作視聴覚教材コンクール」 作品募集開始

日本視聴覚教育協会では、このほど例年実施している2つのコンクールの作品募集を開始した。「教育映像祭 優秀映像教材選奨」(27頁)は、昭和29年より、「全国自作視聴覚教材コンクール」(24頁)は、昭和49年より始められ、それぞれ65回、45回となる。詳細は、<http://www.javea.or.jp/>を参照のこと。



写真・昨年の教育映像祭での表彰式の様子

AV情報

■New Education Expo2018未来の教育を考える

New Education Expo2018実行委員会(株)内田洋行他)主催により、標記セミナーが開催される。

〈日程〉平成30年6月7日(木)～9日(土)(東京会場)、6月15日(金)・16日(土)(大阪会場)
※東京会場開催のセミナーを札幌、旭川、仙台、名古屋、広島、福岡、宮崎、沖縄のサテライト会場に配信予定。

〈会場〉東京ファッションタウンビル(東京都江東区有明3-4-10)、大阪マーチャンダイズ・マート(大阪市中央区大手前1-7-31)

〈内容〉基調講演・特別講演、教育界における最新の動向と授業の実践事例などについてのセミナー、公開授業、教材・教具、電子黒板、デジタル教科書等の展示など。

〈問い合わせ先〉New Education Expo実行委員会事務局(株)内田洋行 教育総合研究所内
TEL 03-5634-6397

■NHK技研公開2018

NHK放送技術研究所では、「よりリアルに、スマートに、あなたとつながる」をテーマに同研究所を公開する。

〈日時〉平成30年5月24日(木)～27日(日)10:00～17:00入場は終了の30分前まで。

〈会場〉NHK放送技術研究所(東京都世田谷区砧1-10-11)

〈内容〉基調講演「IoA (Internet of Abilities) 実現への挑戦、放送の未来」、講演「臨場感を超越るリアリティーイメージング」他、白黒映像の自動カラー化技術、テレビ×ネット×ライブを創る行動連携技術、8Kスローモーションシステム等の展示、ガイドツアー、こどもワークショップなど。

〈問い合わせ先〉NHK代表 TEL 03-3465-1111

研究会情報

■「新学習指導要領に向けて変わる！自治体の教育ICT最新事例」

(一社)日本教育情報化振興会では、標記のテーマによるセミナーを開催する。

■ 協会情報

■「平成30年度教育映像祭 優秀映像教材選奨」募集開始

日本視聴覚教育協会主催による標記選奨は「教育に利用される映像教材の制作と利用の向上進展を図る」ことを目的に開催される。

小学校(幼稚園含)、中学校、高等学校部門においては、【教育映像】(映画・DVD等)及び【教育デジタルコンテンツ】(コンピュータソフトウェア)の別により審査を行う。社会教育部門、職能教育部門、教養部門は、【教育映像】のみとする。

〈部門〉

1. 小学校(幼稚園含)部門
【教育映像】・【教育デジタルコンテンツ】
2. 中学校部門
【教育映像】・【教育デジタルコンテンツ】
3. 高等学校部門
【教育映像】・【教育デジタルコンテンツ】
4. 社会教育部門
【教育映像】(家庭生活向・市民生活向)
5. 職能教育部門

【教育映像】

6. 教養部門

【教育映像】

※1社の参加本数は【教育映像】は制限なし。
【教育デジタルコンテンツ】は、それぞれ3本以内。

〈参加資格〉

平成29年6月1日～平成30年5月31日まで
に完成し、一般に市販されるもの。

〈表彰〉

○最優秀作品賞(文部科学大臣賞、日本視聴覚教育協会会長賞)
○優秀作品賞(日本視聴覚教育協会会長賞)

〈締切〉

平成30年6月1日(金)までに、出品申込書と併せて、作品を申し込むこと。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.javea.or.jp/festival/index.html>

〈問い合わせ先〉

(一財)日本視聴覚教育協会
TEL 03-3431-2186

〈日時〉平成30年5月22日(火)12:45～18:00
〈会場〉DNP研修会館3階ホール(東京都新宿区市谷砂土原町1-2))

〈内容〉基調講演「教育の情報化の動向」文部科学省生涯学習政策局情報教育課、講演「新指導要領を視野に入れたICT活用」小柳和喜雄氏(奈良教育大学教授)、取組事例「児童の学力向上に向けた自治体の取り組みーAI分析で教員の指導支援」[小学校プログラミング実践授業の事例紹介(仮)]、展示コーナー(導入事例・ワークショップ)等。

〈問い合わせ先〉大日本印刷(株) TEL 03-6735-6195

コンクール情報

■映文連アワード2018作品募集中

短編映像業界の活性化を図るとともに、次世代を担う新しい才能を発掘し、映像業界のインキュベータとしての機能を担うことを趣旨に、(公社)映像文化製作者連盟では、標記アワードの作品を募集している。

〈応募要件〉平成29年4月1日～平成30年3月31日までに完成した作品。作品の上映時間は原則として60分以内。メディア・手法は、映画・ビデオ、テレビ番組(地上波テレビ番組以外)、アニメーション、CG、インタラクティブWeb動画、展示映像、モバイル、VR。

〈部門〉コーポレート・コミュニケーション、ソーシャル・コミュニケーション、パーソナル・コミュニケーションの3部門。

〈賞〉最優秀作品賞(グランプリ)、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞各1点他。

■ ブックレビュー

「これで大丈夫! 小学校プログラミングの授業 3+αの授業パターンを意識する[授業実践38]」



小林祐紀／兼宗進／
白井詩沙香／白井英成
編著・監修
翔泳社 発行
2018年4月9日刊
B5判、200頁
1,800円(税別)

「プログラミング教育」…何度舌を噛みそうになったことか。やっとこの頃、スラスラと出てくるようになった。それだけ、教育現場にいる私たちにとって馴染みの薄い学習が始まる。

本書の編著者の一人である小林氏は、本書の中で、新しいことに取組むときの大原則として、「まずはやってみる」ことをすすめておられる。では、本書はその先生方の困り感に、どのように答えてくれるのであろうか。小説ではないので「ネタばれ」を恐れずに、本書

のよさを以下の3点でお伝えしよう。

①バラエティに富んだ事例

学年、教科はもちろん、編著者の兼宗氏の考え方を基に分類したプログラミング教育「3+α」(この定義に関しては本書P14~に詳しい)の事例を網羅。どの事例も、指導案、ワークシートや準備物、板書まで、見開き4頁でコンパクトに記述されている。きっと「やってみてみたい!」事例を、見つけることができる。

②「実践に役立つ」プチ情報

先に「教育現場にとって馴染みの薄い学習」と書いた。本書の最後には、そういう馴染みのない私たちに分かりやすく「コンピュータのしくみ」や「プログラミングの考え方を取り入れた授業づくり」等に関する解説がある。ぜひ、読破を。

③何を大事にするのか、考える



これからは、教師自身も既製品の授業ではなく、主体的に授業を創り出す「授業力」が必要になる。本書を実践の手引書としつつ、批判的に読み解き、自身の授業力向上に役立つものとしてほしい。


(金沢星稜大学教授 佐藤幸江)


〈締切〉平成30年5月31日(木)消印有効。
〈問い合わせ先〉(公社)映像文化製作者連盟
TEL 03-3662-0236

文部科学省選定作品

■ 3月選定 紙しばい／ DVD

特別選定「情報モラルを身につけよう! 小学生のスマホの安全な使い方教室 自分も相手も傷つけないために1」 21分〈小学校中・高学年、特別活動/少年、国民生活(メディア)〉東映(株)
特別選定「情報モラルを身につけよう! 小学生のスマホの安全な使い方教室 危険な目にあわないために2」 18分〈小学校中・高学年、特別活動/少年、国民生活(メディア)〉東映(株)

「おはようパワー」 12枚〈幼稚園/幼児、教養〉(株)童心社

「東京湾の漁業 アナゴ筒漁」 13分〈高等学校、水産/成人、職業の知識技術(農業・畜産・水産業)〉(株)クワッド

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

短信

■文部科学省生涯学習政策局情報教育課の異動 平成30年4月1日付

○課長補佐 松本眞氏→尼崎市教育長○秋田県教育庁義務教育課課長 佐藤有正氏→課長補佐